

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	新世代の超微量惑星有機化合物研究：感度・分離と質量・空間分解の超高度化
研究代表者	奈良岡 浩（九州大学・大学院理学研究院・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、隕石や、はやぶさ2がもたらすであろうサンプルを対象として、超微量地球外惑星有機化合物分析を、いまだ行われたことのない高感度・質量分解能・分離で解析し、太陽惑星系における物質進化解明を目指す意欲的な研究である。有機地球化学の分野をリードする応募者と、薬学を本務とし世界最高感度のアミノ酸分析で実績がある研究分担者による研究であり、地球惑星有機化学のみならず、広い分野への波及効果が期待される研究計画である。非常に多数の惑星有機化合物を分析同定した後に、どのような科学が展開できるか見通しの付かない面を指摘する意見もあったが、以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>